

平成 27 年度 板橋区地域自立支援協議会 第 1 回 相談支援部会報告

- 【日 時】 平成 27 年 10 月 28 日(水) 10:00~12:00
【場 所】 グリーンホール 402 会議室
【出席者】 部会員 14 名、オブザーバー 2 名、事務局 3 名

議題 1 板橋区の基幹相談支援センターのあり方について

事務局より、基幹相談支援センターの設置案について説明。

主な意見

- 相談支援事業所へのバックアップ以外にも機能を拡大してほしい。
- 人員をしっかり確保してほしい。
- 実務担当者会を通じて、相談支援専門員の意見を聞いてほしい。
(実務担当者会での意見)
 - ・ 困難ケースへのアドバイス
 - ・ 社会資源の情報提供
 - ・ 学校や病院への制度説明
 - ・ 関係機関(行政、病院、学校等)への橋渡し、役割分担の指示
 - ・ 土日祝日夜間の営業
 - ・ 差別解消、合理的配慮に関する相談窓口
 - ・ 出張相談

議題 2 計画相談支援の進捗状況

事務局より、計画相談支援の進捗について説明。

主な意見

- 福祉園利用者のセルフプラン(約 500 名)は、切り替えの前に丁寧な説明と、事業所へは余裕を持った依頼をしてほしい。
- 計画相談はいざという時のために必要なツール。準備がなかったために、親が無くなった等の理由で、地方の施設へ入所せざるを得ないケースがある。住みなれた地域で暮らせるためにも、相談支援を活用して準備することが重要。
- 精神障がい者はセルフマネジメントができる方がいるので、セルフプランの制度は必要。
- 福祉園に相談支援事業所を設置してほしい。
- 介護保険の居宅介護支援事業所に対し、相談支援事業参入への PR を。
- 採算性が取れないことが大きい。ケアマネは障がいは難しいというイメージをもっている。
- 当事者は、相談する時はまず福祉事務所と考えている。相談支援専門員はプランを作るだけで良いのか、疑問がある。